
第3回 利根川流域別下水道整備総合計画策定懇談会 議事録

日時：令和6年12月5日(木) 10:00～11:00

場所：さいたま新都心合同庁舎2号館18階プレゼンテーションルーム（WEB併用）

出席者：別紙参照

議事：

1. 懇談会の指摘事項と対応について
2. 将来負荷量及び単純将来水質予測計算について
3. 目標負荷量、下水処理場の処理水質、基本方針（案）
4. 今後の検討スケジュールについて
5. その他

I 議事要旨

- ・ 本日の議事について事務局案のとおり了承された。

II 議事録（概要）

(1) 懇談会の指摘事項と対応について（資料-1）

- ・ 今後は水質悪化の影響は少なくなる方向であり、内容については問題ない。（浅枝委員）
- ・ 6月に河口堰湛水区間の植物プランクトンが増殖する理由を教えてください。（斎藤座長）
→具体的な理由については把握できていない。（事務局）
→プランクトンは種によって増殖時期が異なるためそのような現象も起こりうる。（浅枝委員）
- ・ 補正率について、全体の水質を表現できるモデルであるが、個々の水質を完璧に表現することは困難であるため、補正率を設定することに異存はない。今回整理した内容が今後の要因分析につながるとよい。（斎藤座長）

(2) 将来負荷量及び単純将来水質予測計算について（資料-2）

- ・ 利根川本川では珪藻類が優占種であるが、支川の溜池などでは藍藻類が増殖する場合がある。藍藻類はカビ臭などの原因となるため、次回の見直しの際には気候変動に伴う優占種の予測についても可能となるような技術開発が必要と思われる。（浅枝委員）
- ・ 面源からの栄養塩負荷に関して、森林は栄養塩に対する負荷は無いため問題ではないが、市街地や畑地については高齢化や農業形態による変化も考えられるため、今後の課題として考えていくとよい。（浅枝委員）
→これらのご指摘については、次回見直しに向けた申し送り事項として整理する。（事務局）
- ・ 将来予測水質の更新前後で T・P が大きく変動している理由を教えてください。（斎藤座長）
- ・ 谷田川での富栄養化が影響しているのかもしれない。（浅枝委員）

(3) 目標負荷量、下水処理場の処理水質、基本方針（案）について（資料-3）

- ・ 目標負荷量について特に問題ないと思うが、各県からの意見があれば教えてください。（浅枝委員）
→現時点で各県からの意見は頂いていない。（事務局）
-

-
- ・ T・P に関する記述を今回削除する扱いについて異存はないが、将来の T・P 負荷量は若干増加するので、将来の流出負荷量も確認しておくが良い。(齋藤座長)
 - ・ 基本方針(案)の「目標負荷量の県別目標」という表現については、「県別目標負荷量」という表現のほうが分かりやすい。(齋藤座長)
 - ・ 全体的に異論はないので、この方針で問題ない。(齋藤座長)

(4) 今後の検討スケジュールについて(資料-4)

- ・ 12月中旬に委員会・幹事会の合同開催を予定している。(事務局)

(5) その他

- ・ このような水質改善の取組みをもっと広報すると良い。負荷を減らす主体である住民の意識向上にも繋がる。(浅枝委員)
- ・ 将来水質が想定より改善する可能性もある中で、温室効果ガスの排出抑制や省エネ、生態系の多様性についても併せて考えたときに、下水処理による水質改善をどこまで求めていくかのバランスも重要である。(齋藤座長)

以 上